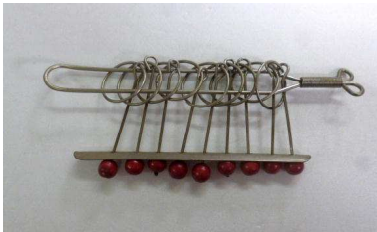


九連環



基本的な九連環



材質や取っ手の飾りなどに若干の違いはありますが およそこのような形になっています
取っ手や輪などの強度は問題ないですが 支えの棒が少し強度に不安があるものもあります



ここまでくると けっこう頑丈になっています
その分 扱いやすくなっています

木製のものも



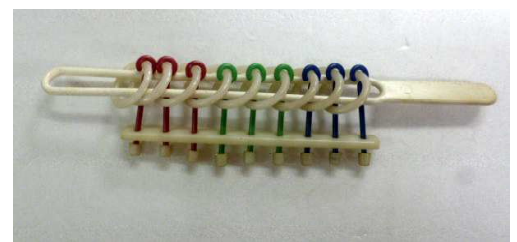
九つだと はずすのにけっこうな手数がかかります
ということで輪の数を減らした物も当然あります
はじめはこのあたりを解いて十分理解した方がいいかもしれません
材質も取っ手や輪以外は木製になりました

これも同様の木製ですが



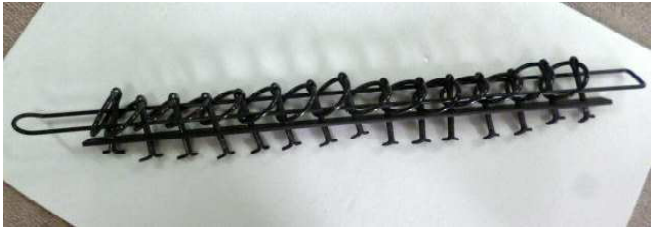
同じように作られていますが ちょっと問題があります
支えの棒が抜けないように留めてある球が大きくて お互いにぶつかってしまいます
支えの棒を上下させるのが困難に

プラ製もあります



これはオールプラ製 美しいですが やはり強度に問題があります
乱暴には扱えません

輪の数が多くなることも

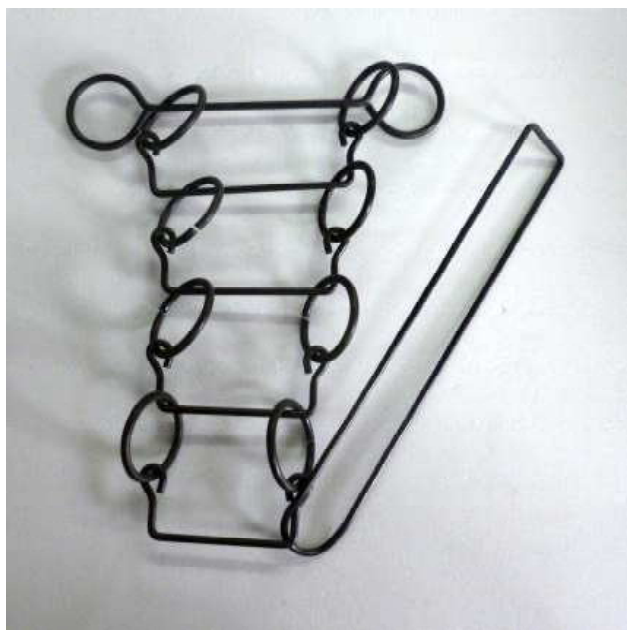


15連です 一時期 ムキになってこれはずして
いました とてつもない時間を費やしました
なんとかはずして 元に戻し それっきり
単純に考えれば 輪の数が1個増えることで それ
までの手順の倍になるわけで 15連というのは そ
うとうな手数を要するという事です



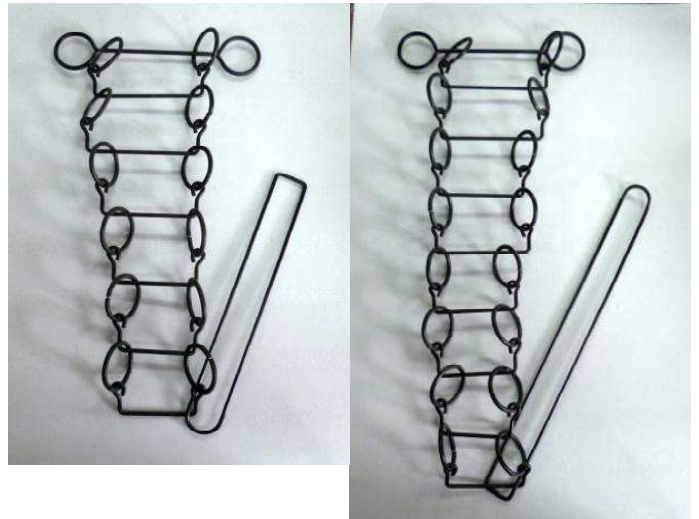
20連もあります
こうなると はずそうとする気にもなりません
もちろん根気強く 時間をかければ はずれる
のでしょけれど
大げさに言えば天文学的な手数がかかります
途中で置いて 続きをやろうとするときは く
れぐれも注意 はずす方向か 元に戻す方向か
お間違えなく

形が変わって はしご型も

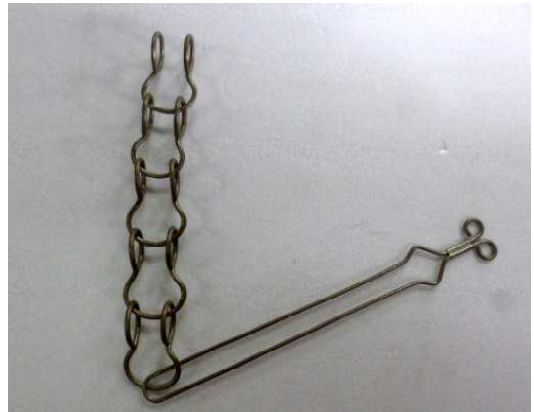


はしご型になっているものもあります
違う物のようですが はしごの片方の輪だけを
考えてもらうと 九連環と同じ仕組みだとい
うことがおわかりいただけると思います

当然 輪の数もいろいろ



はしご型と同じようですが



これはおもしろかったです 最初に手にしたときは
戸惑いました はしご型と同じように はずそうと
したのですが 形状からして そうはいきません
右左と交互にくぐらせるような動きになります

さらに形は変わって



仕組みとしては九連環と同じです